



INTEGRA-7 Editor Ver.2 取扱説明書

| | |
|-----------------------------------|----|
| INTEGRA-7 Editor Ver.2 について | 2 |
| 画面の基本構成 | 3 |
| エディターの構成 | 3 |
| [STUDIO SET] タブ | 4 |
| [TONE] タブ | 5 |
| [MOTIONAL SURROUND] タブ | 6 |
| [EFFECTS] タブ | 7 |
| [SYSTEM] タブ | 8 |
| [EXPANSION] タブ | 9 |
| [UTILITY] ボタン | 10 |
| スタジオ・セットの読み込み (READ) | 11 |
| スタジオ・セットの読み込み方法 | 11 |
| スタジオ・セットとトーンの保存 | 12 |
| スタジオ・セットの保存方法 | 12 |
| トーンの保存方法 | 12 |

INTEGRA-7 Editor Ver.2 について

INTEGRA-7 Editor Ver.2 は、VST インストゥルメント (VSTi)、Audio Units (AU) 対応の DAW にプラグインし、スタジオ・セットやトーンなど、INTEGRA-7 のパラメーターをエディットすることができます。エディターでエディットしたパラメーターは、リアルタイムで INTEGRA-7 へ送信され、反映することができます。

またエディットした内容は、INTEGRA-7 本体に保存しておくことができるため、DAW で異なるプロジェクトを作成した場合でも、保存した設定を使用することが可能です。

画面の基本構成

エディターの構成

エディットするスタジオ・セットやパート、設定するパラメーターの表示を切り替えます。

STUDIO SET 切り替え欄

エディットするスタジオ・セットを選びます。
スタジオ・セットを変更するとすべての設定が切り替わります。

切り替え欄は、スタジオ・セットやトーンの切り替えをするプルダウン・ボタンと名称を表示/変更するエリアに分かれています。 プルダウン・ボタン

STUDIO SET
0002 : Full Orch Set

TYPE / BANK / CATEGORY / TONE 切り替え欄

タイプ、バンク、カテゴリーを切り替えて選択したパートのトーンを選びます。

メニュー切り替えタブ

スタジオ・セットやトーン、エフェクトなど、設定する項目の表示を切り替えます。

PART 切り替え欄

エディットするパートを選びます。

パラメーター・リスト

設定可能なパラメーターやメニューがリスト表示されます。表示される内容は、メニュー切り替えタブや各ボタン、選択したトーンの種類によって変化します。

エディット・エリア

パラメーター・リストで選択したパラメーターの値が表示されます。

The screenshot shows the Roland INTEGRA-7 editor interface. At the top, there are tabs for STUDIO SET, TONE, MOTIONAL SURROUND, EFFECTS, SYSTEM, and EXPANSION. Below these, there are dropdown menus for STUDIO SET (0002: Full Orch Set), TYPE (SN-A), BANK (PRESET), CATEGORY (Strings), and TONE (0203: StringsSect1). A row of buttons labeled PART 1 through 16 is visible. On the left, a sidebar lists parameters: PART VIEW, STUDIO SET COMMON, PART, TONE, LEVEL/CH, PART EQ, KEYBOARD, PITCH, OFFSET, SCALE, and MIDI. The main area displays a table of 16 parts with their respective parameters.

| PART | TYPE | BANK | CATEGORY | TONE | LEVEL | PAN | CHORUS | REVERB | MUTE | SOLO |
|------|------|--------|----------|----------------------|-------|-----|--------|--------|------|------|
| 1 | SN-A | PRESET | STR | 0203 : StringsSect1 | 100 | 0 | 0 | 120 | OFF | SOLO |
| 2 | SN-A | PRESET | STR | 0206 : Slow Strings | 100 | 0 | 0 | 120 | OFF | SOLO |
| 3 | SN-A | PRESET | STR | 0210 : Strings Stac | 100 | 0 | 0 | 120 | OFF | SOLO |
| 4 | SN-A | PRESET | STR | 0211 : Strings Plizz | 100 | 0 | 0 | 120 | OFF | SOLO |
| 5 | SN-A | PRESET | FLT | 0245 : ClassicFlute | 90 | L05 | 0 | 90 | OFF | SOLO |
| 6 | SN-A | PRESET | WND | 0240 : Oboe 1 | 90 | 0 | 0 | 90 | OFF | SOLO |
| 7 | SN-A | PRESET | WND | 0243 : Clarinet 1 | 90 | 05R | 0 | 90 | OFF | SOLO |
| 8 | SN-A | PRESET | WND | 0242 : Bassoon | 80 | 10R | 0 | 90 | OFF | SOLO |
| 9 | SN-A | PRESET | BRS | 0230 : French Horn | 100 | L10 | 0 | 105 | OFF | SOLO |
| 10 | SN-D | PRESET | DRM | 0021 : Orchestra | 100 | 0 | 0 | 105 | OFF | SOLO |
| 11 | SN-A | PRESET | BRS | 0218 : Trumpet 1 | 100 | 0 | 0 | 105 | OFF | SOLO |
| 12 | SN-A | PRESET | BRS | 0225 : Trombone 1 | 100 | 10R | 0 | 105 | OFF | SOLO |
| 13 | SN-A | PRESET | PNO | 0001 : Full Grand 1 | 100 | L35 | 0 | 105 | OFF | SOLO |
| 14 | SN-A | PRESET | PLK | 0183 : Harp | 100 | L55 | 0 | 105 | OFF | SOLO |
| 15 | SN-A | PRESET | BEL | 0179 : TubulrBells2 | 85 | 30R | 0 | 105 | OFF | SOLO |
| 16 | SN-A | PRESET | VOX | 0213 : LargeChoirAh | 100 | 0 | 0 | 105 | OFF | SOLO |
| EX | | | | | 100 | | | 0 | OFF | |

[READ] ボタン

INTEGRA-7 本体の設定をエディターで読み取ります。

P.11

[UTILITY] ボタン

スタジオ・セットやトーンの保存、イニシャライズ（初期化）をすることができます。

P.12

[PREVIEW] ボタン

クリックするとエディットしたトーンを試聴することができます。

[STUDIO SET] タブ

[STUDIO SET] タブでは、スタジオ・セット全体の設定や、パートごとに詳細な設定をすることができます。

PART VIEW

パートごとに、トーンやレベル、パンなどの設定をし、スタジオ・セット全体のバランスを調整します。
また EX パートでは、外部入力 (INPUT 端子) のレベル調整ができます。

STUDIO SET COMMON

スタジオ・セットのテンポやトーン・コントロール、フェーズ・ロックなど、スタジオ・セット全体の設定をします。

PART

パートごとに、レベル、イコライザー、ピッチ、スケールなどのパラメーターを詳細に設定します。

| PART | TYPE | BANK | CATEGORY | TONE | LEVEL | PAN | CHORUS | REVERB | MUTE | SOLO |
|------|------|--------|----------|--------------------|-------|-----|--------|--------|------|------|
| 1 | SN-A | PRESET | STR | 0203: StringsSect1 | 100 | 0 | 0 | 120 | OFF | SOLO |
| 2 | SN-A | PRESET | STR | 0206: Slow Strings | 100 | 0 | 0 | 120 | OFF | SOLO |
| 3 | SN-A | PRESET | STR | 0210: Strings Stac | 100 | 0 | 0 | 120 | OFF | SOLO |
| 4 | SN-A | PRESET | STR | 0211: Strings Pizz | 100 | 0 | 0 | 120 | OFF | SOLO |
| 5 | SN-A | PRESET | FLT | 0245: ClassicFlute | 90 | L05 | 0 | 90 | OFF | SOLO |
| 6 | SN-A | PRESET | WND | 0240: Oboe 1 | 90 | 0 | 0 | 90 | OFF | SOLO |
| 7 | SN-A | PRESET | WND | 0243: Clarinet 1 | 90 | 05R | 0 | 90 | OFF | SOLO |
| 8 | SN-A | PRESET | WND | 0242: Bassoon | 80 | 10R | 0 | 90 | OFF | SOLO |
| 9 | SN-A | PRESET | BRS | 0230: French Horn | 100 | L10 | 0 | 105 | OFF | SOLO |
| 10 | SN-D | PRESET | DRM | 0021: Orchestra | 100 | 0 | 0 | 105 | OFF | SOLO |
| 11 | SN-A | PRESET | BRS | 0218: Trumpet 1 | 100 | 0 | 0 | 105 | OFF | SOLO |
| 12 | SN-A | PRESET | BRS | 0225: Trombone 1 | 100 | 10R | 0 | 105 | OFF | SOLO |
| 13 | SN-A | PRESET | PNO | 0001: Full Grand 1 | 100 | L35 | 0 | 105 | OFF | SOLO |
| 14 | SN-A | PRESET | PLK | 0183: Harp | 100 | L55 | 0 | 105 | OFF | SOLO |
| 15 | SN-A | PRESET | BEL | 0179: TubulrBells2 | 85 | 30R | 0 | 105 | OFF | SOLO |
| 16 | SN-A | PRESET | VOX | 0213: LargeChoirAh | 100 | 0 | 0 | 105 | OFF | SOLO |
| EX | | | | | 100 | | 0 | 0 | OFF | |

[TONE] タブ

[TONE] タブでは、トーン元になるインストゥルメントやパーシャルを選択したり、パラメーターを変更したりして、音作りをすることができます。

COMMON

トーン全体の設定をします。
エディット・エリアに表示されるパラメーターは、選択したトーンの種類によって変化します。

表示されるパラメーターは、選択したトーンの種類によって変化します。

※ 画面は SuperNATURAL アコースティック・トーンを選択した場合の表示です。



[MOTIONAL SURROUND] タブ

[MOTIONAL SURROUND] タブでは、パートごとに定位と奥行き感をコントロールすることができます。

COMMON

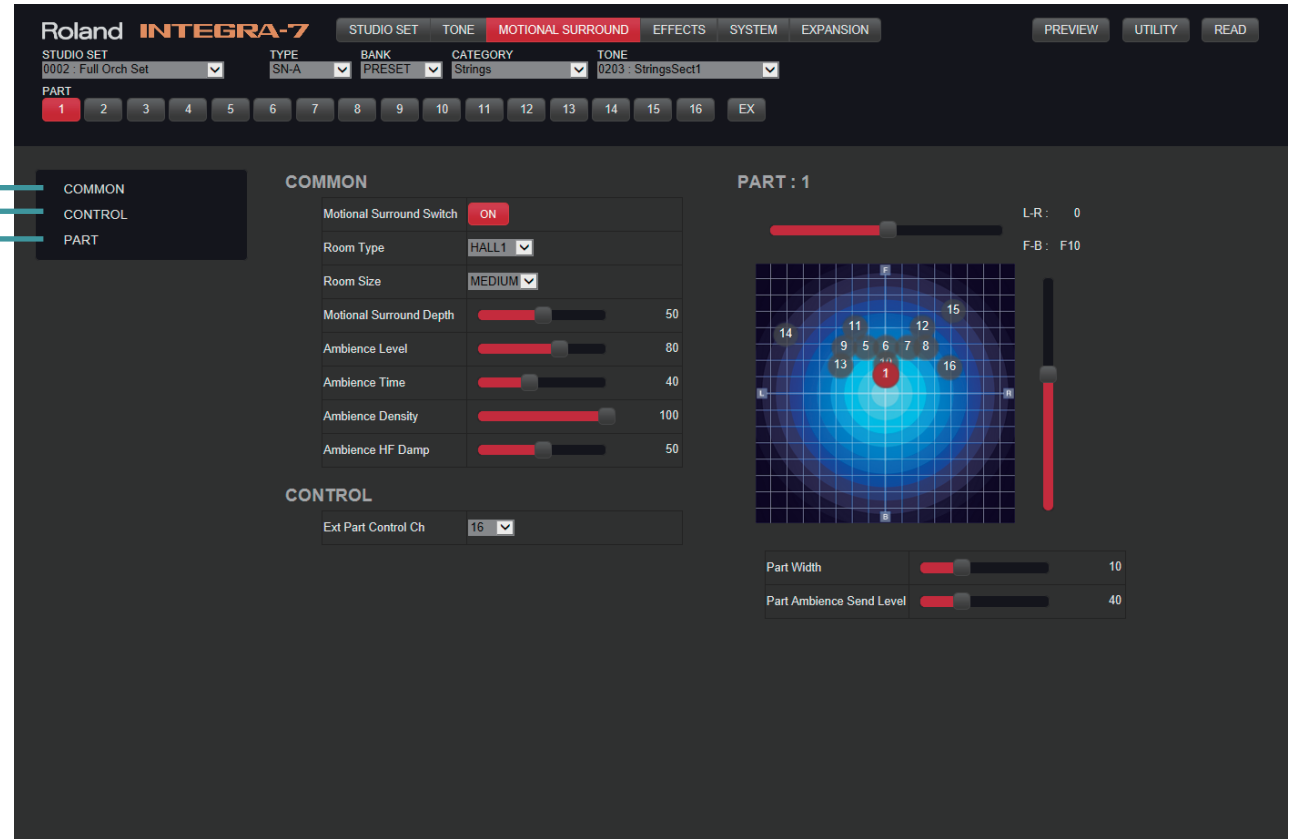
リバーブのタイプやルーム・サイズ、アンビエントの設定をします。

CONTROL

Ext パートのパラメーターをコントロールするための MIDI チャンネルを指定します。

PART

各パートの定位と奥行き感を調整します。調整は、パート番号の書かれたノードを目的の位置にドラッグするか、グラフの上と右にあるスライダーを動かして行います。



[EFFECTS] タブ

[EFFECTS] タブでは、トーン、パート、スタジオ・セットで使用するエフェクトの設定をすることができます。

TONE

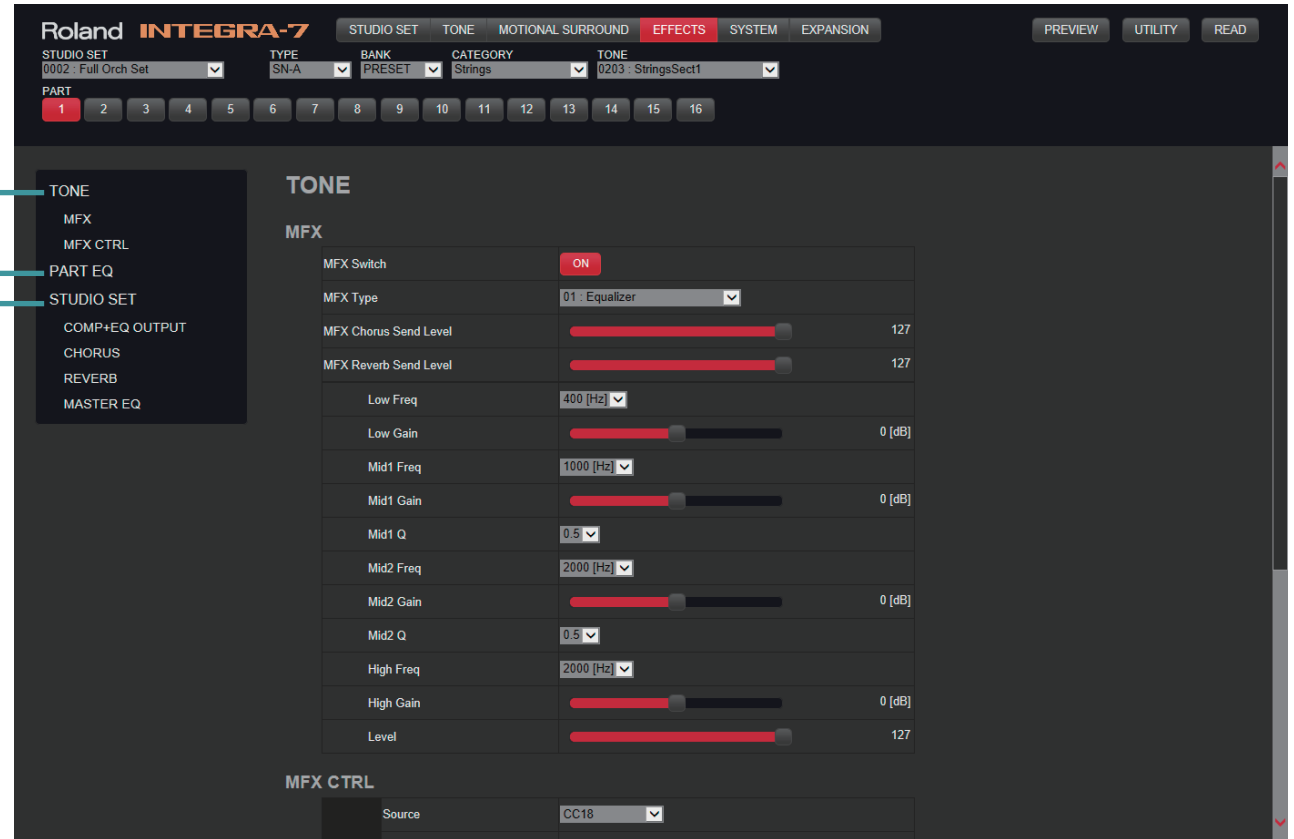
トーンにかけるエフェクト（MFX）の種類やかかり方を設定します。
また、MFXのパラメーターをMIDIでコントロールするためのMFX CONTROL（マルチエフェクト・コントロール）の設定をすることができます。

PART EQ

パートごとに、イコライザーのON / OFF、カットオフ周波数やゲインの設定をすることができます。

STUDIO SET

リバーブやコーラス、マスターEQのパラメーターを設定します。
またドラム・パートでは、ドラム用のコンプレッサーとイコライザーをかけたり、出力するアウトプット端子を指定したりすることができます。



[SYSTEM] タブ

[SYSTEM] タブでは、チューニングや MIDI メッセージの受信方法などの設定ができます。

SOUND

マスター・レベルやマスター・チューン、音域の設定をします。

SYNC/TEMPO

他の機器と同期する際の設定をします。

MIDI

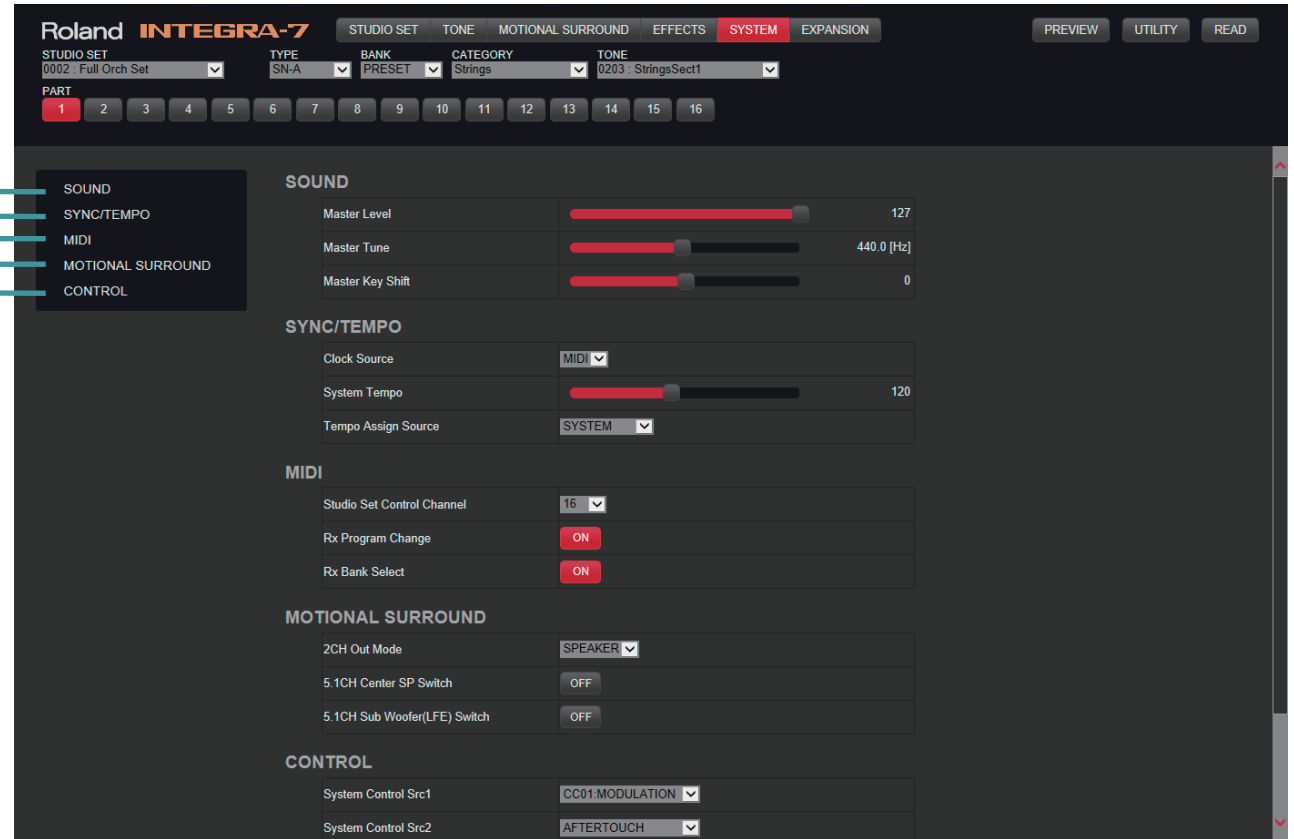
MIDI メッセージの受信に関する設定をします。

MOTIONAL SURROUND

モーショナル・サラウンドの出力方法を設定します。

CONTROL

INTEGRA-7 全体で共通に使う音量やトーンなどをコントロールするための MIDI メッセージを設定します。



[EXPANSION] タブ

[EXPANSION] タブでは、本体の仮想スロットに音色データを読み込み、使用できるようにすることができます。

VIRTUAL SLOT

4つの仮想スロットに読み込む音色データを選択します。

選択ができたら、[LOAD] ボタンをクリックして、読み込みます。



[UTILITY] ボタン

[UTILITY] ボタンをクリックすると、エディットしたスタジオ・セットとトーンの保存をしたり、スタジオ・セット、トーン、パーシャルの初期化をしたりすることができます。

STUDIO SET WRITE

編集したスタジオ・セットの保存先を指定して保存します。保存したスタジオ・セットは、STUDIO SET 切り替え欄で選べるようになります。

TONE WRITE

編集したトーンの保存先を指定して保存します。保存したトーンは、TYPE / BANK / CATEGORY / TONE 切り替え欄で選べるようになります。

STUDIO SET INIT / PART INIT / SOUND CTRL INIT / TONE INIT / PARTIAL INIT

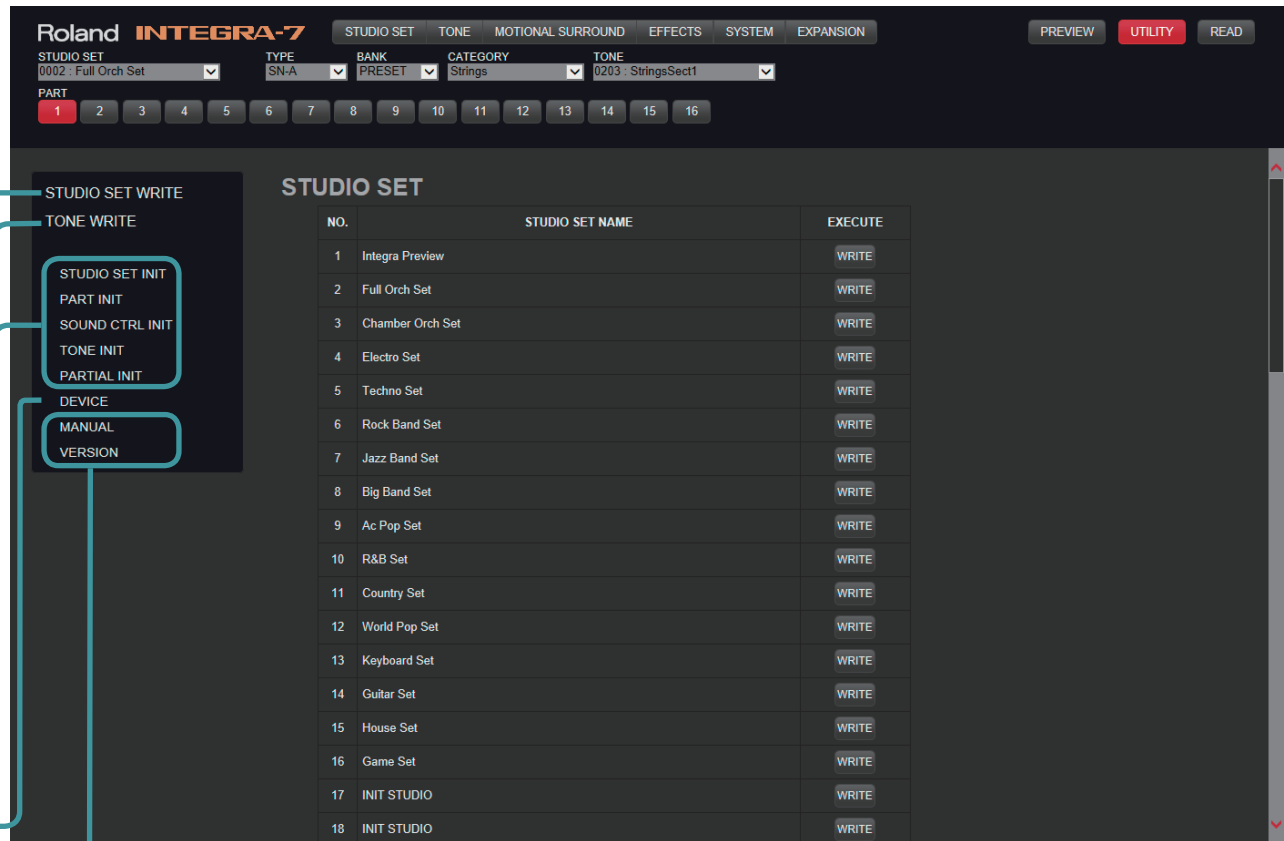
選択したスタジオ・セット、パート、サウンド・コントロール、トーン、パーシャルの設定を初期化します。

DEVICE

INTEGRA-7 Editor Ver.2 の設定をします。

MANUAL / VERSION

MANUAL：本マニュアルを表示します。
VERSION：エディターのバージョンを表示します。



スタジオ・セットの読み込み (READ)

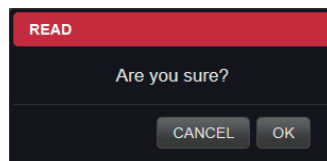
本体に保存してあるスタジオ・セットを INTEGRA-7 Editor Ver.2 に読み込み、編集することができます。

スタジオ・セットの読み込み方法

1. エディターで編集したいスタジオ・セットを、INTEGRA-7 本体で選びます。
2. INTEGRA-7 Editor Ver.2 を起動して、[READ] ボタンをクリックします。

[READ] ダイアログが表示されます。

3. [OK] ボタンをクリックして、スタジオ・セットを読み込みます。



※スタジオ・セットの読み込み時間は、お使いのパソコン環境やスタジオ・セットによって異なります。

4. エディットが完了したら、「スタジオ・セットとトーンの保存」(P.12)の方法で、変更内容を保存します。

スタジオ・セットとトーンの保存

エディットしたスタジオ・セットやトーンは、一時的なものです。そのため、INTEGRA-7 本体の電源を切ったり、他のスタジオ・セットやトーンを選んだりすると、エディットした内容は消えてしまいます。エディットを終了、中断する場合は、必ずエディットした内容を保存してください。

スタジオ・セットの保存方法

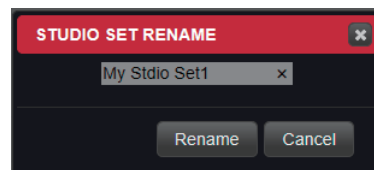
1. 「STUDIO SET 切り替え欄」のスタジオ・セット名の上でクリックします。

「STUDIO SET RENAME」ダイアログが表示されます。



2. スタジオ・セット名を変更し、[Rename] ボタンをクリックします。

※SONAR をお使いのかたは、エディター画面右上の【キーストローク】ボタンをオンにして、入力してください。



3. [UTILITY] ボタンをクリックします。

パラメーター・リストの表示が切り替わります。

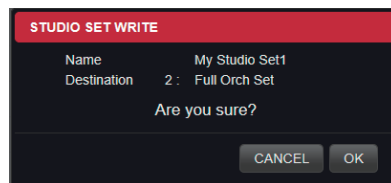
4. [STUDIO SET WRITE] をクリックし、スタジオ・セットの一覧を表示させます。

5. エディットしたスタジオ・セットを保存する No. の [WRITE] ボタンをクリックします。

「STUDIO SET WRITE」ダイアログが表示されます。

6. [OK] ボタンをクリックします。

INTEGRA-7 本体の選択した No. にスタジオ・セットが保存されます。



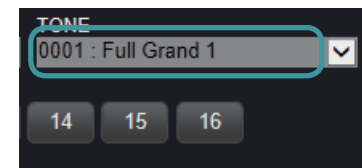
ご注意！

保存中は、INTEGRA-7 本体の電源を切らないでください。

トーンの保存方法

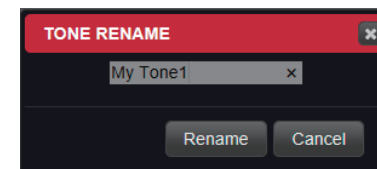
1. 「TONE 切り替え欄」のトーン名の上でクリックします。

「TONE RENAME」ダイアログが表示されます。



2. トーン名を変更し、[Rename] ボタンをクリックします。

※SONAR をお使いのかたは、エディター画面右上の【キーストローク】ボタンをオンにして、入力してください。



3. [UTILITY] ボタンをクリックします。

パラメーター・リストの表示が切り替わります。

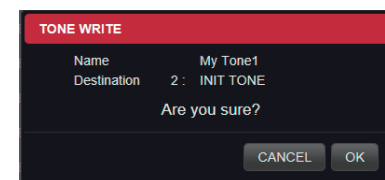
4. [TONE WRITE] をクリックし、トーンの一覧を表示させます。

5. エディットしたトーンを保存する No. の [WRITE] ボタンをクリックします。

「TONE WRITE」ダイアログが表示されます。

6. [OK] ボタンをクリックします。

INTEGRA-7 本体の選択した No. にトーンが保存されます。



ご注意！

保存中は、INTEGRA-7 本体の電源を切らないでください。